

洛和会音羽リハビリテーション病院

地域連携 NEWS 2019

Rakuwakai Otowa Rehabilitation Hospital
vol.10

〒607-8113 京都市山科区小山北溝町32-1 TEL 075 (581) 6221(代) FAX 075 (581) 6110(代) <http://www.rakuwa.or.jp/otowareha/>



あけまして おめでとうございます

洛和会音羽リハビリテーション病院 院長 きむら 木村 とおる 透



いよいよ平成最後のお正月となりました。
日頃からのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

洛和会音羽リハビリテーション病院も開設
4年目となり、「地域包括ケアを支えるリハ
ビリテーション病院」という当院の使命は、
昨今ますます重要となってきたと感じ
ます。超高齢社会で増加する要介護性疾患
(認知症・骨折転倒・脳血管疾患・神経難病
など)の予防や治療、そして介護との連携
など入院、外来、訪問診療を駆使して地域の
ニーズにさらにきめ細やかに貢献したいと
考えています。

左記疾患以外でも、救急を受診するほど
ではないが短期の入院治療が適切と考えら
れる方、在宅介護支援のためのレスパイト
入院や、急性疾患や骨折後の廃用などにより
一定期間、リハビリ目的の入院が必要と考
えられる患者さんがおられましたら、ぜひ
ご相談ください。可能な限り対応できるよう
職員一同、努力したいと考えております。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



当院は認知症初期集中支援事業受託事業所です

当院は昨年8月に京都市から山科区における「**認知症初期集中支援事業**」を受託しました。認知症になっても本人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるため、認知症の人や認知症が疑われる人、そのご家族に「早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築すること」を目的とした事業です。

※具体的な事業内容は同封の事業チラシをご参照ください。

突然ですが、山科区チームのアクセス手段は自転車(電動)です



事業開始から4カ月が経過しました。日々愛用の自転車にまたがり、山科の町並みを眺め、相談者の生活を想像しながら訪問先に向かっております。そうするといろいろな発見があります。家の中での様子を見ると認知症が進み、一人での生活が厳しいように思われる方でも、一歩外に出て生活圏を眺めると、その方の生活が成り立つには十分な環境(お店、医院、地域の人など)があり、何かしらの支援体制さえ構築できれば、ご本人が望む在宅生活がまだまだ可能なのではないかと思うことが少なくありません。生活に寄り添った支援を構築していくためにも、山科の「人とまち」をしっかりと見つめながら、関わりを持っていきたいと思っております。今後、ご協力いただく事案もあるかと思っておりますが、よろしくお願いたします。



京都市山科区認知症初期集中チーム
きのした しげる
木下 茂

フリースペース **絆** at おおつか

地域の方々を対象に、“ちょっと耳より”情報と「ぺちゃくちゃする場」を毎月開催しています。

大塚学区社会福祉協議会・山科区地域福祉推進委員会との協同運営により、当院の人的・物的資源を活用し、安心して健やかに暮らし続けられるようにサポートします。



内容は楽しみに!

開催日時 1月27日(日)、2月24日(日)、3月24日(日)
午後2時～4時

開催場所 洛和会音羽リハビリテーション病院
1階ロビー

お問い合わせ

■大塚学区社会福祉協議会

TEL 075 (501) 2498

■山科区地域福祉推進委員会事務局

TEL 075 (593) 1294

■洛和会音羽リハビリテーション病院 看護部

TEL 075 (581) 6221 (代)

地域連携課より

「在宅療養あんしん病院」のご案内

洛和会音羽リハビリテーション病院は、**在宅療養あんしん病院**として、**京都府在住の療養中の高齢者(65歳以上の方)**が体調を崩し、在宅での対応が困難になった場合のスムーズな受け入れを行っています。早めの対応により、病状の悪化や体の働きの低下をできるだけ防ぎ、在宅生活の継続を支援します。**登録には地域のかかりつけ医の協力が必要となります。**患者さんのなかにご希望の方がおられましたら早めの登録をお願いいたします。



洛和会音羽リハビリテーション病院 地域連携課

業務時間

月～土曜日

午前**8時30分**～午後**5時15分**

連絡先

TEL **075 (581) 6868 (直通)**

FAX **075 (581) 6110**